



## 令和3年10月19日（火）名古屋市立千音寺小学校にて 「くすりの正しい飲み方：くすりと安全に安心して付き合う」 「くすり教室：実験講座」「薬物乱用・依存」の出前授業・Eプロを開催： 特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構（NPO J-DO）と共催

名城大学薬学部では出前講義の一つとして、高齢者や小学生に「くすり」や「薬物依存」のことを知ってもらう授業や体験実験を、特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構（NPO J-DO）の協力の下に行っています。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により出前講義の開講が中止されましたが、今年度は出前講義や名城大学 Enjoy Learning プロジェクト（通称：Eプロ）の活動も1年8か月ぶりに再開することができました。常時換気の実施、ソーシャル・ディスタンスを保つなど十分な感染予防対策を施した上での開催となりました。

名古屋市立千音寺小学校（伊与田玲子校長）の6年生主任 高井要治先生のご尽力により、令和3年10月19日（火）、名古屋市立千音寺小学校にて「くすりの正しい飲み方：くすりと安全に安心して付き合う」「くすり教室：実験講座」「薬物乱用・依存」を下記の内容にて開催しました。当日は、6年生の児童101名が「くすり」について学び、「濡らした手でカプセルを触ると手にくっついたよ！」「ビタミンCによってイソジンの色が消えちゃってびっくり！」「お茶に鉄の薬を入れたらお茶の色が黒色に変わっちゃった！」と大好評でした。

### 名古屋市立千音寺小学校における「くすり教室」

日時：令和3年10月19日（火） 10時40分～11時25分

場所：名古屋市立千音寺小学校 体育館

内容：

#### ・「実験を始める前のお話」：Q&A方式

くすりをどのように飲んだら良く効き、副作用を防ぐことができるかについての講義をQ&A方式の児童参加型で行いました。学部5年の内野里香がスライドを使ってわかりやすく説明しました。小学生は問い掛けに対して積極的に答えられました。今回は新型コロナウイルス感染症に関して、正しい感染対策の知識が身に付いているかどうか児童に確認してもらうために、手洗いで洗い残しが多い部分や適切なマスク着装についてもQ&A方式にて講義を行いました。

#### ・「体験実験」

小学生は15グループ（1グループ5～8名）に分かれ、学部5年の内野里香がスライドを使用して、実験する目的を説明しながら体験実験を行いました。体験実験では、より理解できるように鍋島俊隆先生（NPO J-DO 理事長）、名城大学薬学部 野田幸裕教授（NPO J-DO 副理事長）、間宮隆吉准教授（NPO J-DO 理事）、薬学生（病態解析学Ⅰ院生3名、Eプロ・5年生5名、腫瘍分子医学研究室・Eプロ5年生1名、薬品作用学研究室5年生4名）が補助しました。

制作：名城大学薬学部病態解析学Ⅰ  
（内野里香、野田幸裕）  
薬品作用学（間宮隆吉）  
監修：NPO J-DO（鍋島俊隆）



### <実験項目>

1. コップ一杯の水かぬるま湯で「くすり」をのむのはなぜ？
2. 水がなくても飲める薬があるのを知ってる？
3. 「くすり」を「お茶」で飲むとどうになってしまうの？
4. 「うがいくすり」でうがいた後に、すっぱい食品を食べるとどうになってしまうの？

## 名古屋市立千音寺小学校における授業

### 「乱用薬物には絶対、手を出さない！」

日時：令和3年10月19日（火）11時35分～12時15分

場所：名古屋市千音寺小学校 体育館

#### 内容

- ・「乱用薬物には絶対、手を出さない！」：講義と実験

薬物乱用はどうして怖いのか、どのような薬がドラッグとして乱用されているか、身近で乱用されている薬の正しい情報、なぜ薬物を乱用するのかについて、野田幸裕教授がスライドを使用して分かりやすく説明しました。講義では、「タバコによって成長はどうってしまうのだろうか？」についてタバコを含む水で植物を育てると成長が遅くなるということをハツカダイコンの連続写真を用いて示したり、なぜ害があるとわかっているにもかかわらず薬物を乱用してしまうのかについて説明しました。「お酒を飲むと脳の細胞や肝臓はどうしてしまうのだろうか？」「シンナーを吸うと体はどうしてしまうのだろうか？」については各グループにおいて薬学生によるデモ実験を行いました。児童からは「タバコやお酒を乱用してはいけないことがわかったよ！」という感想や、「レバーや卵の白身がエタノールによって変化しちゃった?!」「シンナー（アセトン）をかけると発泡スチロール（ヒトの細胞）が一瞬で溶けてしまった！」という驚きの声が多く上がりました。タバコやお酒、危険ドラッグが体にどのような影響を与えてしまうのか、乱用薬物に誘われたらどのように自分の身を守れば良いのかということ、講義や実験を通して学ぶことができました。

